

学校だより 12月号

令和4年11月30日



横浜市立義務教育学校

緑園学園

RYOKUEN COMPULSORY EDUCATION SCHOOL

横浜市泉区緑園五丁目28番地 前期課程 ☎045 (811) 6710 後期課程 ☎045 (811) 6030

いそがしく時計の動く師走哉 (正岡 子規)

後期課程副校長 田中 光弘

11月に入ってもしばらく暖かい日が続きましたが、最近は冬が近づきつつあることを肌身で感じられるようになってきました。朝の挨拶に見られる子どもたちの装いにも、街を彩る木々の色合いにも、その様子が見られるようになり、そして12月がやってきます。“終わり良ければすべてよし”という言葉がありますが、最後になんとかしようというよりも、「今年も大変なことがあったけれど、振り返ればそういう一つひとつも今の結果につながっている」という意味合いを大切にしたいところです。入学式、進級式、始業式、校外学習、体育祭、運動会、文化祭、航空写真撮影など、様々な行事がありました。それらの土台となる、日々の活動も積み重ねてきました。1年をしっかりと締めくくり、3月につながっていくことを期待しています。

さて、私たちも一つひとつを創り上げながら、ここまで教育活動を進めてまいりました。教職員も今までの振り返りと次に向けての準備を進めています。その一つが「校内研究授業」です。前期課程の教職員は後期課程の授業を、後期課程の教職員は前期課程の授業を見合うという研修です。お互いの授業を見合うことで、どのように前期課程・後期課程をつないでいくか、どのような授業改善が必要かを考えることが目的です。9年間を見通した教育活動を教職員も振り返り、よりよいものを目指して進み続けています。

さらに、地域や保護者の代表の方ともここまでの振り返りを共有しました。「学校運営協議会」です。学校運営協議会は、地域・保護者の方々と学校とが目標を共有することで、社会に開かれた教育課程の実現を目指していく会議です。緑園学園では年4回実施する予定になっており、11月24日に第3回目が実施されました。全国学力・学習状況調査の結果報告や、運動会・体育祭・文化祭・校外学習など各種行事を通じた教育活動の振り返り、表現・未来デザイン科の中間報告など、子どもたちの様子をお伝えしました。校長挨拶では「大きな行事が終わり、落ち着いて学習に取り組む時期が来ました。緑園の子どもたちは自分自身の課題に自ら取り組んでいます。」との話があり、地域や保護者の方からは、今後の学校への期待や地域行事との連携などについてご意見をいただきました。今後の学校運営に生かして参ります。

この1年を締めくくる12月。地域の方々、保護者の皆様、児童生徒、教職員、関係する皆様方とで力を合わせながら、3月に向かって歩んで行きたいと思います。今後とも、本校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。